

5全般

手引き(下敷き)の活用で保護者との連携を深める (1)

毎日じっくり家庭学習 進んで取り組む若桜っ子

学習時間のめやす

【1,2年】

30分以上



【3,4年】

45分以上



【5,6年】

60分以上



【7年】

90分以上



【8年】

120分以上



【9年】

150分以上

学習の仕方

全学年共通

- ①学校からの配布物を家の人に渡す
- ②机の上を片付ける
- ③今日の宿題(課題)を確認する

1~6年生

- ④鉛筆を正しく持って姿勢よく学習する
- ⑤テレビを見ず、最後までやりとげる
- ⑥家の人に見てもらおう
- ⑦明日の準備をする

7~9年生

- ④課題を丁寧に確実にやりとげる
- ⑤復習や予習をする
- ⑥テストに向けて計画的に学習する
- ⑦明日の準備をする

明日の準備ですること

- ・筆箱の中を確認する(鉛筆削りなど)
- ・時間割をそろえる
- ・宿題、課題をかばんに入れる
- ・持っていくものを確認する
- ・ハンカチ、ティッシュ、名札の準備



学習の内容

1, 2年生

- ・おんどく(すらすらよめるように)
- ・かんじ(ひつじゅんにきをつけて)
- ・けいさん(せいかくにできるように)
- ・どくしょ(としょかんの本など)
- ・にっき(じゅんじょにきをつけて)
- ・じしゅがくしゅう(きょうかしょのししゃ、〇〇みつけ、かんさつきろくなど)



3, 4年生

- ・音読(はっきりした声で)
- ・漢字(正しい筆順で、とめ、はね、はらいに気をつけて)
- ・算数(計算の順じょに気をつけて)
- ・読書(読み物をたくさん読む)
- ・日記(まとまりを考えてだん落に分け、思ったことや考えたことを入れて)
- ・社会(県名や地名、地域で働く人の工夫)
- ・理科(自然の中で不思議に思ったことなど)
- ・自主学習(部首、ことわざ、特産物、星や月の観察など)

5, 6年生

- ・音読(はっきりした声で気持ちを込めて)
- ・漢字(正しい筆順で、とめ、はね、はらいに気をつけて、しっかり覚える)
- ・算数(正確に速く計算する)
- ・読書(物語や伝記など色々な種類を読む)
- ・日記(伝えたいことが分かるように書く)
- ・社会(資料集や地図帳で分かったことなど)
- ・理科(自然の中で不思議に思ったことなど)
- ・自主学習(ローマ字、ニュース記事、俳句作り、ミニ研究など)

7~9年生

- ・国語(漢字の意味と読みを確認し、繰り返し練習)
- ・数学(応用問題等を理解できるまで直しをする)
- ・社会(重要語句を何度も書いて覚え、ワークを解く)
- ・英語(単語、基本文、本文を声に出して読む、英語の発音を繰り返し聞く)
- ・理科(観察、実験前のレポート作成など)
- ・読書(様々なジャンルの本を読む)
- ・自主学習(英語:紹介文づくり、理科:教科書のポイントまとめ 数学:入試問題にチャレンジ)

※ 時間があれば、eライブラリを使って学習しましょう

保護者からの一言がはげみになります

- ★自分から学習に取りかかれたね。
- ★苦手なことにチャレンジしているね。
- ★時間を上手に使っているね。
- ★自分で決めた時間、頑張れたね。
- ★めあてに向かってできたね。



家庭での声かけは、どの学年でも大切なサポートになります。低学年のうちには子により添って温かい助言や励ましを、成長するにしたがって、自立を促しながら親子で対話をいただくことが大切になります。

(2)

# かていせいかつ やくそく 家庭生活の約束



**わ**

たいせつ かぞく あいさつ だん  
を大切に 家族で挨拶・回らん

「おはよう」「行ってきます」「ありがとう」「ごめんなさい」  
「おやすみなさい」など、まずは家族内であいさつをしましよ  
う。また、1日の出来事や身の周りのこと、自分の夢などにつ  
いて、家族で話し、家族の絆を深めましょう。

**か**

いちいん  
ぞくの一員  
いえ しごと  
家での仕事

子どもも大人も家の仕事を分け合い、  
協力して生活することが大切です。  
家庭科で学んだことなどを参考にし  
て、自分にできることを決めて取り組  
んでみましょう。部活動な  
どで忙しくてもできるこ  
を続けていきましょう。



**さ**

こうどう はやね  
と行動 早寝・  
はやあ あさ  
早起き・朝ごはん

朝ごはんは午前中の学習を支えるエネ  
ルギーになります。朝ごはんをしっか  
り食べましょう。早寝、早起きをし  
て、生活リズムをつくることで、学習  
や課外活動、部活動への集中力が高  
まり、力が発揮でき  
るようになります。



## メディアのルールを考えよう

テレビ、オンラインゲーム、インターネット、SNSなどは夢中  
になりやすく、生活に影響が出る可能性が高いものです。

- ・視力低下、姿勢の悪化など、成長時期の体へ悪影響
- ・長時間の使用による脳への悪影響（学んだことがインプットされない、など）
- ・SNSやオンラインゲーム等での友達とのトラブル（ネットトラブルは解決が難しい）
- ・睡眠不足による気持ちの浮き沈み、昼間の眠さによる学習の定着のしにくさ、朝起きられない



このような影響は、学校に行けない、学習に身が入らない、という原因になります。どのようにメ  
ディアと付き合っていくか、時間や使い方を親子で話し合っ決めてみましょう。